

上場会社名 株式会社 ほくやく・竹山ホールディングス  
 コード番号 3055 URL <http://www.hokutake.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 真鍋 雅昭  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理本部 経理部長 (氏名) 吉田 敏明  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

TEL 011-737-1030

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	46,596	—	341	—	560	—	357	—
20年3月期第1四半期	46,847	—	246	—	416	—	68	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	13.77	—
20年3月期第1四半期	2.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%		円 銭	%
21年3月期第1四半期	100,896	—	37,317	—	37.0	1,437.49	—
20年3月期	98,322	—	36,870	—	37.4	1,417.03	—

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 37,317百万円 20年3月期 36,877百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5.25	—	5.25	10.50
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	5.25	—	5.25	10.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	93,000	△0.7	900	31.2	1,200	23.1	450	131.1	17.33
通期	187,500	△0.6	2,100	0.3	2,700	0.0	950	4.6	36.59

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 25,976,221株 20年3月期 25,976,221株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 15,916株 20年3月期 15,502株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 25,960,482株 20年3月期第1四半期 25,963,225株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、サブプライムローン問題に端を発した世界的な金融市場の混乱や、原油価格高騰等による物価上昇懸念から個人消費は伸び悩み、景気減速感が強まってまいりました。

医療業界におきましては、診療報酬・調剤報酬改定はプラスに転じましたが、薬価引き下げをはじめとした医療費抑制策は引き続き実施されており、従来以上に厳しい経営環境となっております。

このような状況の中、当社グループでは、「ホールディングスはひとつ」をスローガンに掲げ、グループ全体での効率化、各事業の機能強化と連携による得意先利便性の向上等、統合シナジー実現を目指し様々な取組みを実施しております。

OTC（一般用医薬品）市場の全国化への対応としては、「量販部門」を担う株式会社ほくやくヘルスケアが株式会社リードヘルスケアと合併いたしました。また、統合以来推進している株式会社ほくやくと株式会社竹山の拠点統合につきましては、5月に岩見沢支店の新社屋建築に着手いたしました。

以上の結果、当四半期連結会計期間の業績につきましては、売上高465億96百万円、営業利益3億41百万円、経常利益5億60百万円となり、四半期純利益につきましては、3億57百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

#### （医薬品事業）

医薬品事業におきましては、本年4月に診療報酬改定ならびに平均5.2%の薬価引き下げが実施され、後発医薬品の使用促進策の実施や医療用医薬品の流通改善に関する緊急提言への対応課題等もあり、厳しい市場環境となりました。また、OTC（一般用医薬品）事業での量販部門の他社との合併による売上マイナス要因はありましたが、生活習慣病用薬や高齢化の進展を背景とした循環器用薬の売上伸張などでカバーいたしました。

利益面では、価格交渉における早期妥結努力と適正利益確保の徹底、メーカーとのプロモーション活動や医療情報提供などによるフィービジネスの成果もありました。以上の結果、売上高は357億74百万円、営業利益は3億56百万円となりました。

#### （医療機器事業）

医療機器事業におきましては、償還価格の引き下げや価格競争の激化に伴い、引き続き循環器関連商材および一般消耗品等において売上・利益両面での落ち込みが目立ちました。また、子会社の株式会社竹山が本年2月に公正取引委員会から排除措置命令を受けたため、主に北海道内の国公立病院から競争入札に関する指名停止処分を受けたことも売上の減少要因となりました。以上の結果、売上高は83億53百万円、営業損失は19百万円となりました。

#### （調剤事業）

調剤事業におきましては、長期投薬による処方箋枚数の減少傾向や薬価引き下げの影響により、全般的に売上高は減少傾向にあるものの、一部の医療機関の院外処方箋全面発行開始による売上増や、前年度にグループ加入した新規連結子会社の貢献がありました。また、利益面におきましては、技術料算定項目の見直し等を行い、調剤報酬改定による利益率低下をカバーいたしました。以上の結果、売上高は17億68百万円、営業利益は82百万円となりました。

#### （介護事業）

介護事業におきましては、介護報酬の引き下げや新予防給付による利用者の減少傾向が続く中、品揃えの充実と安全性の向上に徹した差別化の取り組みの結果、自社レンタル件数や住宅改修件数が増加いたしました。以上の結果、売上高は3億14百万円、営業利益は39百万円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における現金および現金同等物（以下「資金」という。）は、仕入債務の増加や投資有価証券の売却等により、当第1四半期連結会計期間末には、164億84百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は19億45百万円となりました。これは税金等調整前当第1四半期純利益が6億49百万円、仕入債務の増加22億50百万円によるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1億78百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得1億39百万円および無形固定資産の取得99百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億75百万円となりました。これは主に、配当金の支払によるものであります。

(連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少)

株式会社ほくやくヘルスケアが連結子会社から除外されたことにより、1億87百万円の減少となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年5月19日の決算短信で発表しました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,785	15,381
受取手形及び売掛金	44,034	43,344
商品	10,446	10,720
繰延税金資産	907	584
その他	4,156	4,680
貸倒引当金	△216	△249
流動資産合計	76,114	74,462
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,453	5,505
土地	6,357	6,357
建設仮勘定	98	
その他（純額）	516	332
有形固定資産合計	12,425	12,195
無形固定資産		
のれん	956	1,231
その他	1,299	969
無形固定資産合計	2,256	2,201
投資その他の資産		
投資有価証券	8,134	7,429
破産更生債権等	1,056	1,089
長期貸付金	82	94
繰延税金資産	120	102
その他	1,374	1,450
貸倒引当金	△675	△722
投資その他の資産合計	10,093	9,444
固定資産合計	24,775	23,840
繰延資産	7	19
資産合計	100,896	98,322

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	58,187	56,599
短期借入金	10	10
未払法人税等	723	1,000
賞与引当金	907	712
役員賞与引当金	13	65
返品調整引当金	56	56
その他	1,261	956
流動負債合計	61,161	59,401
固定負債		
長期借入金	4	7
繰延税金負債	1,115	989
再評価に係る繰延税金負債	171	171
退職給付引当金	374	373
役員退職慰労引当金	223	213
長期未払金	506	271
その他	21	22
固定負債合計	2,418	2,050
負債合計	63,579	61,451
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	12,756	12,756
利益剰余金	22,956	22,735
自己株式	△13	△13
株主資本合計	36,699	36,478
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,012	1,703
土地再評価差額金	△1,395	△1,395
評価・換算差額等合計	617	308
少数株主持分		83
純資産合計	37,317	36,870
負債純資産合計	100,896	98,322

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年6月30日)

売上高	46,596
売上原価	42,808
売上総利益	3,787
販売費及び一般管理費	
荷造費	182
給料	1,466
役員賞与引当金繰入額	13
賞与引当金繰入額	353
退職給付費用	110
役員退職慰労引当金繰入額	7
法定福利及び厚生費	256
賃借料	84
その他	970
販売費及び一般管理費合計	3,446
営業利益	341
営業外収益	
受取利息	4
受取配当金	73
受取事務手数料	97
不動産賃貸料	17
持分法による投資利益	10
その他	44
営業外収益合計	247
営業外費用	
支払利息	0
不動産賃貸原価	13
遊休資産諸費用	11
その他	3
営業外費用合計	28
経常利益	560
特別利益	
子会社株式売却益	65
貸倒引当金戻入額	63
その他	18
特別利益合計	147
特別損失	
固定資産除却損	3
商品評価損	46
その他	8
特別損失合計	58

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年6月30日)

税金等調整前四半期純利益	649
法人税、住民税及び事業税	714
法人税等調整額	△422
法人税等合計	292
四半期純利益	357

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間  
 (自 平成20年4月1日  
 至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	649
減価償却費	189
繰延資産償却額	0
のれん償却額	124
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△77
受取利息及び受取配当金	△78
支払利息	0
持分法による投資損益 (△は益)	△10
固定資産除却損	3
子会社株式売却損益 (△は益)	△65
会員権評価損	1
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,127
たな卸資産の増減額 (△は増加)	258
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,250
未払消費税等の増減額 (△は減少)	138
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	10
賞与引当金の増減額 (△は減少)	197
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△51
未収入金の増減額 (△は増加)	840
預り金の増減額 (△は減少)	46
その他	△475
小計	2,826
利息及び配当金の受取額	78
利息の支払額	△0
法人税等の支払額	△959
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,945
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△139
無形固定資産の取得による支出	△99
投資有価証券の取得による支出	△69
投資有価証券の売却による収入	0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	59
貸付けによる支出	△35
貸付金の回収による収入	104
投資活動によるキャッシュ・フロー	△178



(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年6月30日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△2
単元未満株式の売買による収入及び支出	△0
配当金の支払額	△136
リース債務の返済による支出	△36
財務活動によるキャッシュ・フロー	△175
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,591
現金及び現金同等物の期首残高	15,080
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△187
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,484

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	医薬品事業 (百万円)	医療機器 事業 (百万円)	調剤事業 (百万円)	介護事業 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	35,774	8,353	1,768	314	385	46,596	—	46,596
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,796	2,004	2	2	274	4,080	(4,080)	—
計	37,571	10,357	1,771	316	659	50,676	(4,080)	46,596
営業利益又は営業損失(△)	356	△19	82	39	111	570	(229)	341

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、販売商品の種類及び形態を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要商品及び販売形態

事業区分	
医薬品事業	医療用医薬品・一般用医薬品・農畜産用薬品の販売
医療機器事業	医療機器等の卸売
調剤事業	調剤薬局
介護事業	介護用品等のレンタル、介護・福祉コンサルティング
その他	コンピュータ・ソフトウェアの開発・販売及び計算業務の受託、保険代理店、SPD（院内物流）、新規開業支援

b. 所在地別セグメント情報

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社および在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(平成19年4月1日～6月30日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	46,847
II 売上原価	43,101
売上総利益	3,746
III 販売費及び一般管理費	3,500
営業利益	246
IV 営業外収益	216
V 営業外費用	46
経常利益	416
VI 特別利益	0
VII 特別損失	77
税金等調整前四半期(当期)純利益	340
法人税、住民税及び事業税	243
法人税等調整額	37
少数株主損失	8
四半期(当期)純利益	68

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結累計期間(平成19年4月1日～6月30日)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期(当期)純利益	340
減価償却費	146
繰延資産償却	0
減損損失	64
のれん償却	111
受取利息及び受取配当金	△62
支払利息	0
固定資産売却損	12
固定資産除却損	0
売上債権の増減額	△1,211
たな卸資産の増加額	△368
仕入債務の増加額	1,787
その他	△254
小計	567
利息及び配当金の受取額	62
利息の支払額	△0
法人税等の支払額	△666
営業活動によるキャッシュ・フロー	△37
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金等の預入による支出	0
定期預金等の払戻による収入	16
有形固定資産の取得による支出	△364
有権固定資産の売却による収入	20
無形固定資産の取得による支出	△193
投資有価証券の取得による支出	△12
新規連結子会社の取得による支出	△544
貸付による支出	△10
貸付金の回収による収入	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,085

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(百万円)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△5
自己株式の売却による収入	0
自己株式の取得による支出	△1
配当金の支払額	△136
財務活動によるキャッシュ・フロー	△143
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—
V 現金及び現金同等物の増加額	△1,267
VI 現金及び現金同等物の期首残高	16,785
VII 現金及び現金同等物の四半期末 (期末) 残高	15,517

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前年同四半期（平成20年3月期第1四半期）

	医薬品事業 (百万円)	医療機器事業 (百万円)	調剤事業 (百万円)	介護事業 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	36,537	9,414	1,547	275	1,022	48,797	(1,949)	46,847
営業費用	36,335	9,361	1,532	237	886	48,354	(1,752)	46,601
営業利益	202	53	15	37	135	443	(197)	246

b. 所在地別セグメント情報

前年同四半期（平成20年3月期第1四半期）

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社および在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

前年同四半期（平成20年3月期第1四半期）

海外売上高がないため該当事項はありません。